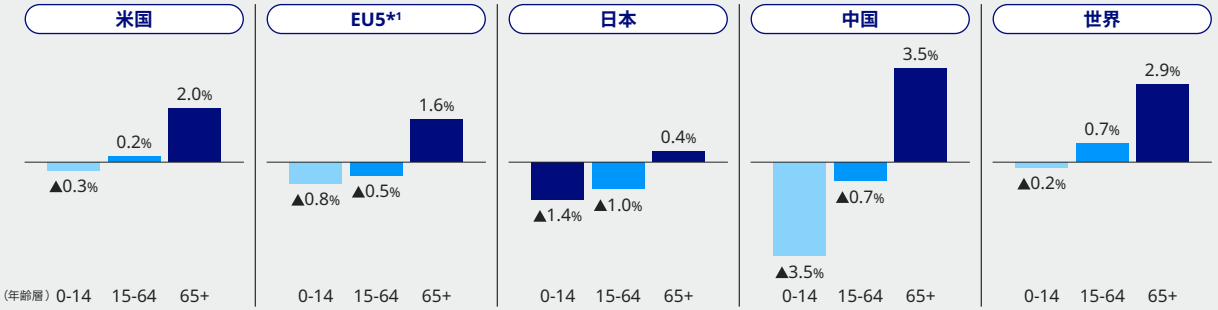
グローバルヘルスケアデータ

人口

- 65歳以上の高齢者の世界人口は、2020年から2040年にかけて毎年2.9%増加する見通しです。
- 中国では、長寿化と出生率の低下により、高齢者の人口が急速に増加し、若年者の数が減少すると予想されています。
- 人口高齢化は疾病増加の主な要因の一つであり、オリンパスは対象疾患に対して、医療水準を向上するためのソリューションを提供し続けていきます。

年齢別人口の年間増加率（2020～2040年）

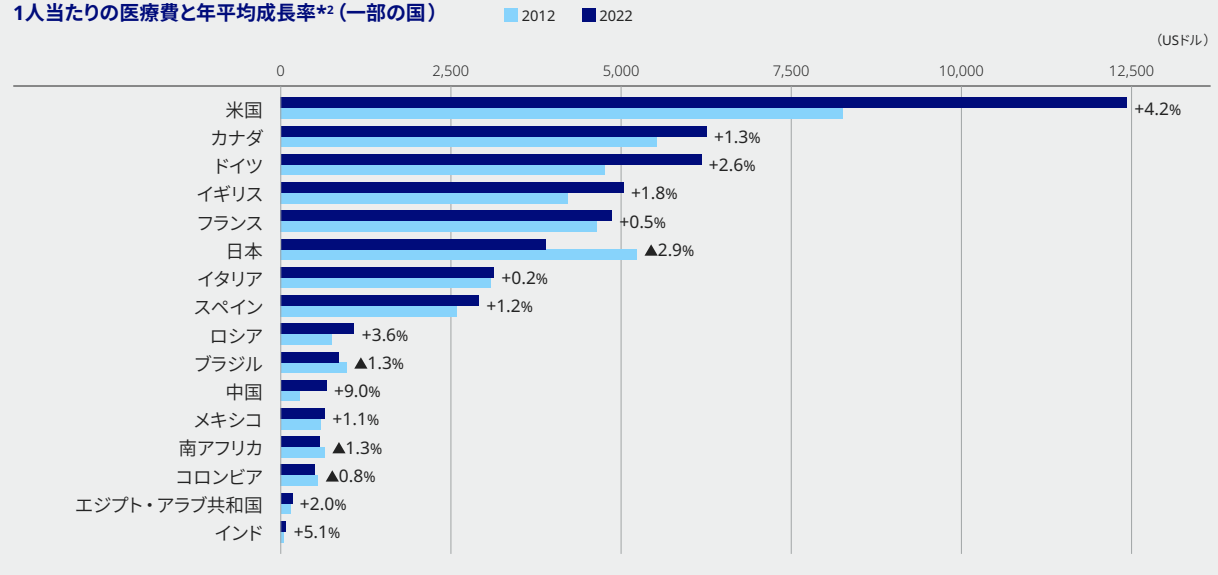


*1　EU5：英国、フランス、イタリア、ドイツ、スペイン
出典：United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2024). World Population Prospects 2024, Online Edition.

医療費

- 世界の1人当たりの医療費は、2012年から2022年にかけて年平均成長率（CAGR）で2.3%増加しています。国別の1人当たりの医療費は米国が最も多く、CAGRは中国が9%と最も高くなっています。
- オリンパスは、医療従事者を対象とした教育支援等を通じて、医療機会の幅広い提供に貢献しています。

1人当たりの医療費と年平均成長率*2（一部の国）

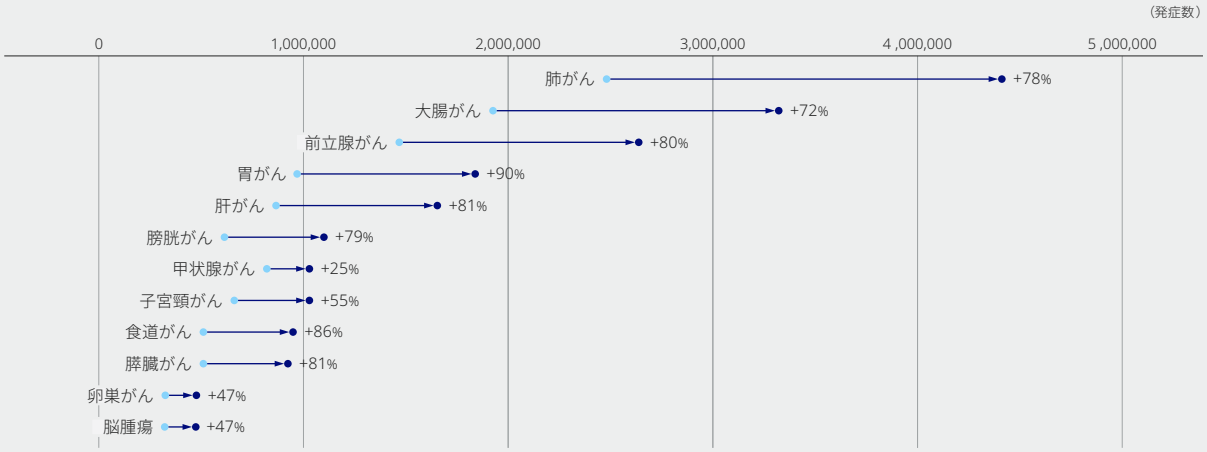


*2　年平均成長率（CAGR）：2012-2022
出典：World Bank, World Health Organization Global Health Expenditure database
https://data.worldbank.org/indicator/SH.XPD.CHEX.PC.CD?end=2022&start=2012&type=points&view=chartv

がん

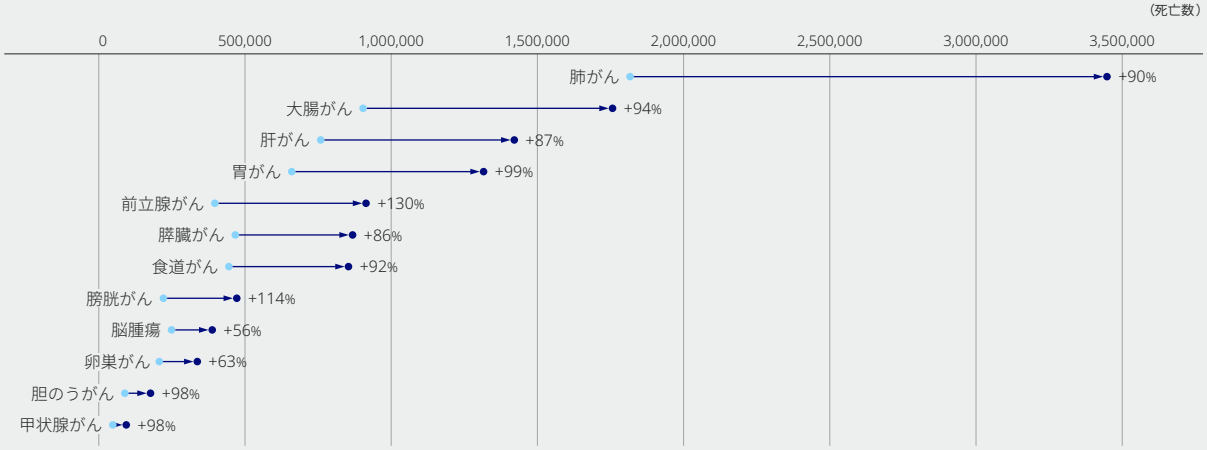
- がんの発症数を部位別に見ると、多い順に肺がん、大腸がん、前立腺がん、胃がん、肝がんの順になっており、長期的に見てもそれぞれ大幅に増加する見込みです。増加率が最も高いがんは胃がんであり、食道がん、膵臓がん、肝がんが続きます。
- オリンパスは、対象とするがんにおいて、医療水準の向上により、患者さんのアウトカム改善に貢献していきます。

世界のがん発症数増加率*（2022～2050）



- がんの死亡数を部位別に見ると、多い順に肺がん、大腸がん、肝がん、胃がん、前立腺がんの順になっており、長期的に見ても上位5部位は変わらない見込みです。前立腺がんと膀胱がんは、2022年から2050年の増加率が非常に高く、それぞれ130%、114%の増加率となっています。

世界のがん死亡数増加率*（2022～2050）



* オリンパスが現在製品およびサービスを提供している部位に絞って掲載しています

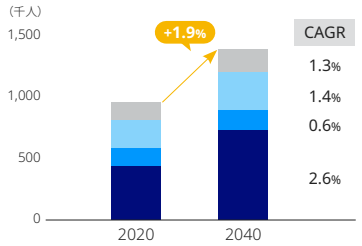
出典：Ferlay J, Laversanne M, Ervik M, Lam F, Colombet M, Mery L, Piñeros M, Znaor A, Soerjomataram I, Bray F (2024). Global Cancer Observatory: Cancer Tomorrow (version 1.1). Lyon, France: International Agency for Research on Cancer. Available from: https://gco.iarc.who.int/tomorrow, accessed July 31 2024

疾患データ

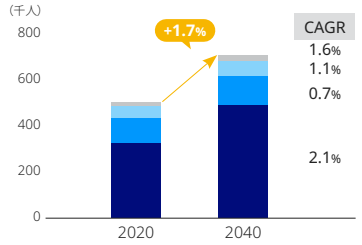
■ 米国 ■ EU5*1 ■ 日本 ■ 中国

消化器科

大腸がん発症数（地域別）*2

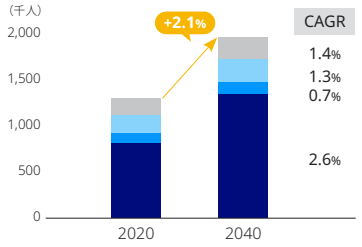


胃がん発症数（地域別）*2



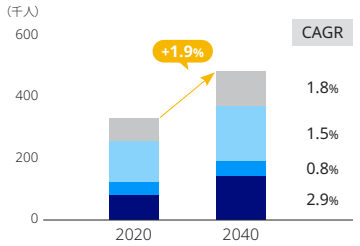
呼吸器科

非小細胞肺がん発症数（NSCLC）（地域別）*2

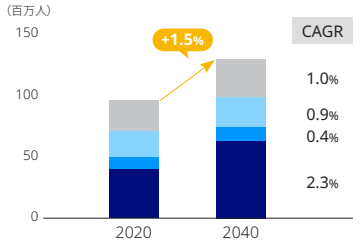


泌尿器科

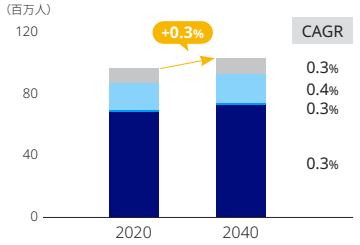
膀胱がん発症数（地域別）*2



前立腺肥大症（BPH）総有病者数（地域別）*2



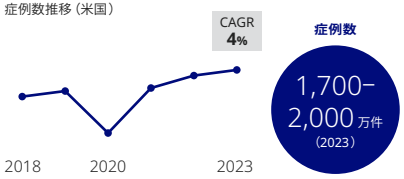
腎臓結石総有病者数（地域別）*2



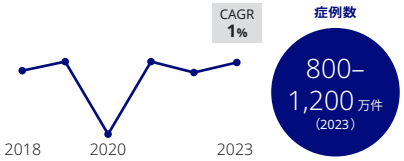
症例数データ

消化器科*3

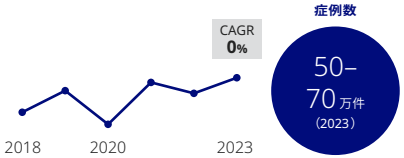
大腸内視鏡検査
症例数推移（米国）



胃内視鏡検査
症例数推移（米国）

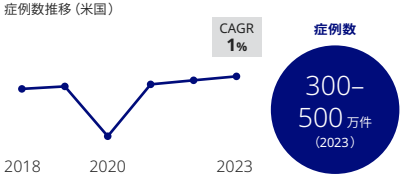


ERCP（内視鏡的逆行性胆道膵管造影術）
症例数推移（米国）

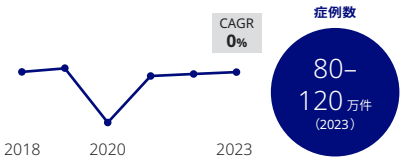


泌尿器科*3

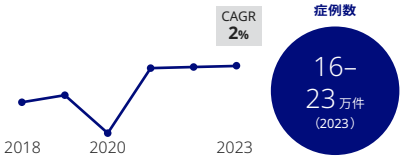
膀胱鏡検査
症例数推移（米国）



尿管鏡検査
症例数推移（米国）

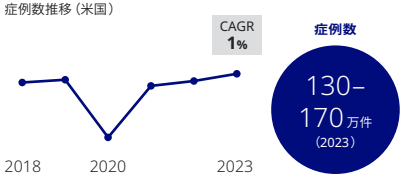


TURP（経尿道的前立腺切除術）
症例数推移（米国）



呼吸器科*4

気管支鏡検査
症例数推移（米国）



*1 EU5：英国、フランス、イタリア、ドイツ、スペイン
*2 出典：Epi Database、Cerner Envizaに2025年7月にアクセス
*3 出典：AcuityMDおよび当社予測
*4 当社予測